

422-VR02000-004

# TASCAM

# VR-02

## Stereo IC Recorder






動作確認済みメディア情報は、TASCAMのウェブサイトからダウンロードすることができます。











取扱説明書

## 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。



	<b>警告</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b> 万一、異常が起きたら煙が出たり、変なにおいや音がするときは機器の内部に異物や水などが入ったときはこの機器を落としたり、カバーを破損したときはすぐに機器本体の電源を切り、USB ケーブルを抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。
	<b>禁止</b> この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない 火災・感電の原因となります。
	<b>分解禁止</b> 航空機の離着陸時には使用しない 航空機の運航の安全に支障を及ぼす恐れがあるため、離着陸時の使用は航空法令により制限されていますので、離着陸時は本機の電源をお切りください。
	<b>分解禁止</b> この機器のカバーは絶対に外さない カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。





	<b>警告</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b> イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、聴覚障害の原因となります。聴覚障害の可能性を防ぐために、長時間、高音量で聴かないください。
	<b>注意</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	<b>指示</b> オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する
	イヤホンを使用する前には、本機の音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴覚障害などの原因となることがあります。
	移動させる場合は、外部の接続コードを外す ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	<b>禁止</b> ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となることがあります。

	<b>注意</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	<b>禁止</b> 濡れた手でコネクタを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。
	<b>注意</b> 5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。 内部にほこりがたまってきたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

## 充電式電池の取り扱いについて

本製品は、内蔵バッテリーにリチウムイオン充電電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの恐れがあり、それを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

	<b>警告</b> 充電式電池に関する警告。
	<b>禁止</b> 充電式電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない 液漏れが発生したときは、ティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。 液が目に入ったときには失明の恐れがありますので、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。 液が体や衣服に付いたときは皮膚のけが・やけどの原因になるので、きれいな水で洗い流したあと、ただちに医師にご相談ください。

	<b>警告</b> 充電式電池に関する警告。
	<b>禁止</b> 指定以外の USB ケーブルを使用しない 充電を行うときは、必ず指定の USB ケーブルを使用してください。指定以外の物を使用すると過熱により、けが・やけど・火災・汚損や電池の破裂、液漏れの原因になります。
	<b>分解禁止</b> 火の中に入れてたり、火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりしない 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	<b>分解しない</b> 思わぬ発火の原因になります。点検・修理は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。

## 充電電池のリサイクル

本機には、内蔵バッテリーとしてリチウムイオン充電電池を使用していますので、リサイクルが可能です。

不要になった製品は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、タスカム カスタマーサポート（巻末に記載）にご相談ください。



# 目次

安全にお使いいただくために	2	録音設定	20	自動オフ設定	41
充電式電池の取り扱いについて	3	録音形式設定	21	録音 LED 設定	41
充電電池のリサイクル	3	自動録音 (音声認識) 設定	21	言語設定	42
はじめに	5	モニター設定	22	操作音設定	42
本製品の構成	5	予約録音設定	22	保存場所設定	43
本機の概要	6	自動分割録音設定	24	本体情報	43
設置上の注意	6	File 消去 / 全消去設定	25	SD 情報	44
結露について	7	<b>再生するには</b>	<b>26</b>	初期化設定	44
製品のお手入れ	7	再生操作 (録音ファイル)	26	FW 情報	45
アフターサービス	7	<b>再生設定</b>	<b>28</b>	日時設定	46
商標および著作権に関して	8	A-B 間リピート	28	リセット	47
SD カードについて	8	リピート設定	28	<b>トラブルシューティング</b>	<b>47</b>
取り扱い上の注意	8	再生速度設定	29	仕様 / 定格	48
各部の名称	9	音量設定	30	<b>TASCAM ID 登録について</b>	<b>51</b>
トップパネル	9	レッスン再生設定	30		
サイドパネル	10	<b>音楽ファイルの再生設定</b>	<b>31</b>		
microSD カードの挿入 / 排出	12	再生操作 (音楽ファイル)	31		
電源の準備	13	SD カード内の音楽ファイルの再生	32		
電源のオン・オフ / ホールド設定	14	EQ (イコライザー) 設定	33		
パソコンと接続	15	<b>ラジオ設定</b>	<b>34</b>		
本機のフォルダー構造	15	ラジオ設定 - 自動登録設定	34		
音楽ファイルの取り込み方法	16	ラジオ設定 - 手動登録設定	35		
メインメニューについて	16	ラジオ設定 - ラジオ録音	36		
日時の初期設定	17	ラジオ設定 - 登録チャンネル消去 /			
録音するには	18	全消去	38		
録音操作	18	<b>システム設定</b>	<b>39</b>		
		本体操作	39		
		表示オフ設定	40		
		輝度設定	40		

## はじめに

このたびは、TASCAM VR-02 をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、本書をいつでも見られる所に保管してください。

また取扱説明書は、TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) からダウンロードすることができます。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに關します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではございません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

万一の誤消去や本機の故障などによるデータの消滅や破損に備え、大切な録音内容をパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

## 本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、タスカムカスタマーサポート（巻末に記載）までご連絡ください。

- 本体..... x1
- イヤホン (FM アンテナ兼用)..... x1
- USB ケーブル (長さ : 50cm)..... x1
- 取扱説明書 (本書、保証書付き)..... x1

### 注意

- microSD メモリーカードは、付属しておりません。
- microSD メモリーカードの抜き差しは、電源オフの状態で行ってください。メモリーカード内のデータを破損させる恐れがあります。
- microSD メモリーカード容量は、32GB まで対応しています。

### メモ

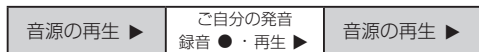
- 本文中で、「ボタンを長押し」の表記は、押す時間が [約 2 秒以上] になります。

この装置は、クラス B 技術情報装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。

VCCI-B

## 本機の概要

- 使用用途に合わせて使える「早聞き / 遅聞き」機能  
再生速度を [ - 8 ] ~ [ + 8 ] の ± 8 段階 (4% 刻み) で調節でき、会議や講義の文字起こしや速聴の際に役立ちます。
- 「A-B 間リピート」機能  
一つのファイル内で、特定範囲の録音内容を繰り返し再生できます。  
起点 A と終点 B を設定して、「A-B 間」のリピート再生 (\*) を行います。  
\* 5 回リピート再生後、自動的に通常再生に移行します。
- 「レッスン再生」機能  
ファイルの再生中、音声録音 (\*) ・再生ができます。  
語学教材などの音源を再生中に、ご自分の発音を録音 (最長 30 秒) して、すぐに再生することで発音状態を確認できます。録音・再生後は、再生中の音源に戻ります。



\* レッスン再生機能で録音された音声は、録音ファイルとして保存されません。

- 「自動録音 (音声認識録音)」機能  
周囲の音声を感知して、自動的に録音を開始し、音声が途切れると一時停止をします。  
内蔵 /SD メモリーの無駄を省き、電池の消耗を抑えます。
- 「自動分割録音」機能  
長時間録音中に設定した時間毎にファイルを保存します。  
自動分割録音設定でファイルを保存後、録音はそのまま継続し、次のファイルに録音を保存します。

## 設置上の注意

- 動作保証温度は、摂氏 5 度 ~ 35 度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。
  - 振動の多い場所や不安定な場所
  - 窓際などの直射日光が当たる場所
  - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  - 極端に温度が低い場所
  - 湿気が多い場所や風通しが悪い場所
  - ほこりの多い場所
  - 直接雨などの水が当たる場所
- 本機の近くにパワーアンプなどの大型トランスを持つ機器がある場合にハム (うなり) を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビや他のラジオ受信機の近くで本機を動作させると、テレビ画面に色むらが出る、または他のラジオ受信機から雑音が出ることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話、無線ルーターなどの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- 放熱をよくするために、本製品の上には物を置かないでください。

---

## 結露について

---

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。

結露したときは、約 1 ～ 2 時間放置してから電源を入れてお使いください。

---

## 製品のお手入れ

---

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。

化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

---

## アフターサービス

---

- この製品には、保証書が添付（巻末に記載）されています。大切に保管してください。  
万一、販売店印の捺印やご購入日の記載がない場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センター（巻末に記載）が修理いたします。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理については、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。

修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）までご連絡ください。
- 修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
  - 型名、型番 (VR-02)
  - 製造番号 (Serial No.)
  - 故障の症状 (できるだけ詳しく)
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名

なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。本機を使ったシステム内の記録メディアなどの記憶内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。

- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 当社は、この製品の補修用性能部分（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後 6 年間保有しています。
- 本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

## 商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- microSDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.



- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson Licensing.
- Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like).  
An independent license for such use is required. For details, please visit <http://mp3licensing.com>.
- Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

## SD カードについて

本機では、microSD カードを使って録音や再生を行います。本機にて動作が確認された microSD カードのリストが、TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) に掲載されています。本機の製品ページをご参照ください。もしくは、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。(音声 / 音楽 / ラジオの各録音ファイルは、取り扱いが容易な SD カードへの保存を推奨いたします。)

## 取り扱い上の注意

microSD カードは、精密にできています。

カードやスロットの破損を防ぐため、取り扱いに当たって以下の点をご注意ください。

- 極端に温度の高い、あるいは低い場所に放置しないこと
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと
- 濡らさないこと
- 上に物を載せたり、ねじ曲げたりしないこと
- 衝撃を与えないこと
- 録音、再生状態やデータ転送などアクセス中に、抜き差しを行わないこと  
(カード内のデータを破損させる恐れがあります。)
- 持ち運ぶ際、カードケースに入れて運ぶこと
- メモリー内部を完全に消去する場合は、本機で初期化してください。



## 各部の名称

### トップパネル



#### ① イヤホン端子

付属のイヤホン(\*)を接続します。

\* 付属品以外を使用する場合、3極のステレオイヤホンをお使いください。

(マイク付きの4極イヤホンは、使用できません。)

#### ② 内蔵ステレオマイク

高音質ステレオ録音マイク(単一指向性)

#### ③ 動作表示インジケーター

録音/再生を開始するとLEDランプが点灯(\*)します。

- [赤/緑・点灯] : 録音/再生中
- [赤/緑・点滅] : 録音/再生一時停止中
- [消灯] : 停止中

\* 録音時のインジケーター表示を[録音LED設定]で、「オン/オフ」が可能です。(4) ページを参照)

充電中は、状態を下記の色で表示します。

- [オレンジ・点灯] : 充電中
- [消灯] : 充電完了

#### ④ ディスプレー

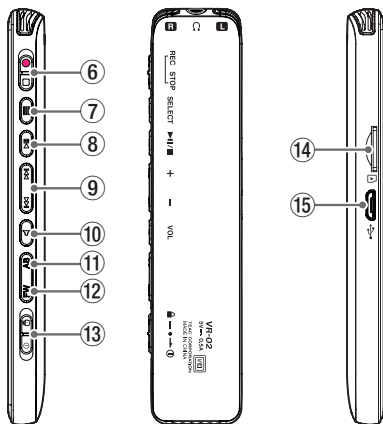
各種情報を表示します。

#### ⑤ 内蔵モノラルスピーカー

再生用の内蔵スピーカーです。

イヤホンを接続している場合、音が出力されません。

## サイドパネル



### ⑥ [●・■] 録音 / 停止 スイッチ

- スイッチを[●]側にスライドすると録音を開始します。
  - スイッチを[■]側にスライドすると録音を終了します。
- 録音されたファイルは、録音開始時のフォルダーに保存します。
- また録音中は、録音 LED 設定が"オン"の場合に本機正面の動作表示インジケータ(③)が点灯します。

### ⑦ ≡ メニュー ボタン

このボタンを長押しすると、メインメニューを表示します。メインメニューには、下記の4モードの設定を行えます。

- 「録音」 / 「音楽」 / 「FM ラジオ」 / 「設定」モード (16 ページ「メインメニューについて」を参照)

### ⑧ [▶||] 再生・録音 / 一時停止 ボタン

停止中に押すと再生を開始し、再生中に2秒以上長押しすると、再生が停止します。

再生中、または録音中に押すと、一時停止します。

### ⑨ [◀◀ / ▶▶] ボタン

[◀◀] 戻る・早戻し・音量(-) / [▶▶] 進む・早送り・音量(+)

- 音量調節は、 ボタン(⑩)で音量設定モードにしてから、調節を行います。
- 録音 / 音楽ファイルの選択や各モードの設定中に、ボタンを押すと"前"、または"後"に移動します。
- 音声や音楽の再生中にボタンを長押しすると"早戻し(\*)"、または"早送り(\*)"を行います。
  - \* 早戻し : 曲の先頭まで戻り、ボタンを離すと停止します。
  - \* 早送り : 曲の終わりまで進み、ボタンを離すと次の曲をスタートします。
- FM ラジオを聴く際には、各放送局の周波数や登録された放送局を選局します。

各モード設定では、[項目選択・移動 / 値]を変更するときに使います。

## ⑩ ボタン

音量 / 戻る

- ボタンを押すと、音量設定モード (\*) になります。  
\* 音量調節は、[◀◀ (- / +) ▶▶] ボタン (⑨) で行えます。
- 再生や録音の停止中 (一時停止は含まず) に、ボタンを長押しすると、録音 / 音楽ファイルの収録するフォルダー先 [A] ~ [D]、[🎵] の 5 種類を選択 (\*) できます。  
\* ボタンを長押しする毎に選択フォルダーが、順に切り換わります。
- 各種設定時には、[戻る] ボタンとして機能します。

## ⑪ AB ボタン

A-B 間リピート

- 再生中にリピートしたい区間を設定できます。  
リピートを開始したい箇所 (A 点) で、ボタンを押し、リピートを終了したい箇所 (B 点) でもう一度、ボタンを押します。  
リピートを終了する場合は、もう一度ボタンを押すと、A-B 間リピート (\*) を終了します。  
\* A-B 間リピートを 5 回繰り返すと、自動的に通常の再生に戻ります。

## ⑫ FW ボタン

レッスン録音

ファイルの再生中にボタンを押すと、レッスン録音 (\*) を開始します。


[▶||] ボタン (⑧) を押すと、レッスン録音を停止し、録音した内容を再生します。

再生終了後、レッスン録音する前に再生していた状態の続きに戻り、自動的に再生を再開します。

\* レッスン録音が 30 秒間経過すると、録音を停止し、録音する前に再生していた状態の続きに戻ります。

## ⑬ ①・ 電源 / ホールド スイッチ

電源オン・オフ / ホールド (誤動作防止)

- 本機の電源を ① マーク側にスライドさせて、オン / オフを行います。
- 電源がオンの状態で  マーク側にスライドさせると、ホールド状態 (誤動作防止) になり、各ボタン操作が無効になります。  
(14 ページ「電源のオン・オフ / ホールド設定」を参照)

## ⑭ microSD カードスロット

microSD カードの差し込み / 取り出し  
(12 ページ「microSD カードの挿入 / 排出」を参照)

### 注意

microSD カードの抜き差しは、電源オフの状態で行ってください。カード内のデータが破損する恐れがあります。

## ⑮ microUSB 端子

付属の USB ケーブルを使用して、USB バスパワーを持つ外部機器 (パソコンなど) の USB ポート (A type) に接続することで、本機の充電が行えます。また、パソコンと接続して本機の録音データや音楽ファイルの転送 / 保存 / バックアップが行えます。

(15 ページ「パソコンと接続」を参照)

## microSD カードの挿入 / 排出



### microSD カードの挿入

本機の電源がオフしていることを確認して、microSD カードを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

### microSD カードの排出

microSD カードの排出時は、本機の電源がオフしていることを確認して、カードを軽く押し込んでから離すと手前に出てきます。

### 注意

- microSD カードは、付属しておりません。
- microSD カードの抜き差しは、電源オフの状態で行ってください。カード内のデータを破損させる恐れがあります。
- microSD カードを抜き取る際、カードが勢いよく飛び出る場合がありますので、取り扱いに注意してください。
- microSD カードの容量は、32GB まで対応しています。
- 初めて microSD カードを使用する際は、必ず本機で初期化を行ってください。必要なフォルダーを生成します。(44 ページ「初期化設定」を参照)

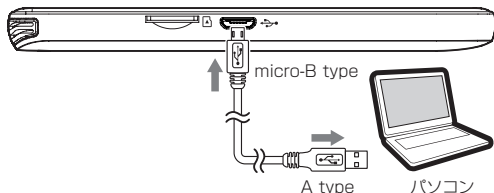
## 電源の準備

本機は、内蔵バッテリーにリチウムイオン充電電池を使用しています。

お買い上げ後にはじめて使用するとき、または長期間使用しなかったときは、充電をしてからご使用ください。

### パソコンと接続して充電する

図のように、起動しているパソコンと本機を付属の USB ケーブルを使って接続します。




### 市販の USB 充電器を使用して充電する

市販の USB 充電器 (\*) を使用して充電する場合、下記の USB 充電器のどちらかをご用意ください。

- USB 端子付き充電器 : A type  
(付属の USB ケーブルを使用)
- USB ケーブル付き充電器 : micro-B type

\* USB 用電源の出力は、DC 5V で 0.5A 以上の出力が必要です。

- 充電中は、本機の動作表示インジケータがオレンジに点灯し、画面に電池アイコン "  " の目盛りが増減を繰り返しながら、充電中をお知らせします。充電が完了すると電池アイコンの増減が停止して、動作表示インジケータが消灯します。

パソコンで充電中  
画面表示




USB 充電器で充電中  
画面表示 (起動中)



USB 充電器で充電中  
画面表示 (待機中)



- パソコンと接続中は、充電とストレージ機能が優先され本機器での再生、録音の動作はしません。本機の画面に "  " のアイコンが表示します。
- USB 充電器で充電中に本機の録音、または再生操作は、可能 (\*) です。  
\* 電源オフで充電している場合、電源をオンしてご使用ください。

### メモ

パソコンとの接続は、付属の USB ケーブル (\*) を使用して、USB ハブを経由せずに直接、パソコンと接続してください。

\* 市販の USB ケーブルをご使用になる場合、高品質 (USB 規格認証ケーブル) のケーブルや、出来るだけ短いケーブルを使用してください。

## 電源のオン・オフ / ホールド設定



### 電源オンする場合

電源 / ホールド スイッチ (13) を ① マーク側にスライドさせ、画面に "TASCAM" (\*) と表示されるまで、スイッチを保持すると電源オンの状態になります。

\* 予約録音を設定していない場合、起動画面は、通常で表示されます。(予約録音については、22 ページ「予約録音設定」を参照してください。)

起動画面 (通常)



起動画面 (予約有)



### 電源オフする場合

電源 / ホールド スイッチ (13) を ① マーク側にスライドさせ、画面に "Good bye" と表示されるまで、スイッチを保持すると電源がオフします。

### ホールド機能 (誤動作防止) を設定 / 解除する場合

- ホールド機能を設定する場合は、電源がオンの状態で電源 / ホールド スイッチを ② マーク側にスライドさせると、画面に "🔒" ホールドアイコン (\*) を表示 (約 1 秒程) し、各ボタン操作が無効になります。

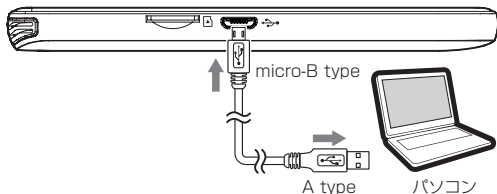
\* ホールドのアイコンは、常時表示しません。ホールド機能を解除する場合は、電源 / ホールド スイッチ (13) を ① マーク側にスライドさせると、ホールドが解除され、各ボタン操作が有効になります。

### メモ

ホールド機能が有効中でも、以下の操作は可能です。

- 音声録音 / 録音停止 / 予約録音 (\*)
- \* 予約録音は、自動録音 (音声認識) 設定 (P.21) が、"オン" になっていると、音声を認識しない場合、自動的に録音が一時停止になります。

## パソコンと接続




図のように、起動しているパソコンと本機を付属のUSBケーブルを使って接続します。

また、パソコンと接続すると大容量USBデバイスとして、録音データや音楽ファイル(\*)の転送/保存/バックアップが行えます。

\*本機で再生可能な音楽ファイルは、下記のファイルフォーマットになります。

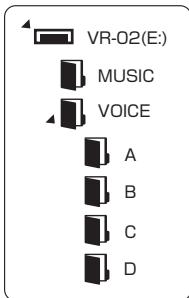
[MP3、WAV、AAC、WMA]  
(48ページ「仕様/定格」を参照)

### 注意

- パソコンとの接続は、USBハブを経由せずに直接接続してください。
- パソコンと接続中は、本機の画面に " " のアイコンが表示します。

## 本機のフォルダー構造

Windows PC を例に本機のフォルダー構造を以下に示します。



### 注意

- ボリュームラベル名 "VR-02" の名前変更は、行わないでください。
  - [VOICE] および [MUSIC] フォルダの名前変更は、行わないでください。
  - [VOICE] フォルダ内の [A] ~ [D] フォルダの名前変更は、行わないでください。
  - [MUSIC] フォルダ内の階層は、認識しません。また、音楽ファイルは必ず、直接 [MUSIC] フォルダ内に入れてください。
- 本機で録音されたファイルは、[VOICE] フォルダ内の録音時に選択した、下記のフォルダに保存されます。  
[A]-[B]-[C]-[D]
  - 音楽ファイル(\*)は、[MUSIC][A] フォルダ内にコピーして、お聞きください。  
\* フォルダ構造以外のフォルダの追加はできません。

## 音楽ファイルの取り込み方法

1. パソコンを起動している状態で、付属のUSB ケーブル経由で本機と接続します。
2. 本機の電源をオンにします。
3. パソコンが本機を大容量 USB デバイスとして認識後、パソコン上で本機のドライブ名 [VR-02] が表示されます。そのドライブ内の [MUSIC] フォルダを開きます。
4. 開いた [MUSIC] フォルダ内に、音楽ファイル (\*) を置きます。  
\* 本機で再生可能な音楽ファイル (48 ページ「仕様 / 定格」を参照)
5. 本機に音楽ファイルの取り込みが完了後、パソコンから本機の取り出し (USB メモリーの安全な取り外し作業) を行い、パソコンと本機を接続している USB ケーブルを外してください。
6. 以上で、本機への音楽ファイルの取り込みは完了です。

### メモ

SD カードに音楽ファイル (\*) を取り込む場合は、31 ページ「音楽ファイルの再生設定」-32 ページ「SD カード内の音楽ファイルの再生」を参照してください。

\* microSD カードを初めて使用する場合、本機でフォーマットを行う必要が有ります。(44 ページ「初期化設定」を参照)

## メインメニューについて








メニューボタン

メニュー [≡] ボタン (⑦) を長押しすると、画面にメインメニューが表示します。

メインメニューから下記の 4 モード設定が可能です。

- 「音声」 / 「音楽」 / 「FM ラジオ」 / 「設定」 モード  
(モード選択は、[◀◀/▶▶] ボタン (⑨) で選択します。)

モード	アイコン	参照ページ
音声		18 ページ、 26 ページ
音楽		31 ページ
FM ラジオ		34 ページ
設定		39 ページ

メニュー [≡] ボタン (⑦) でモードを決定します。メインメニューから復帰するには、 ボタン (⑩) を押し、前の画面に戻ります。



## 日時の初期設定

本機をご購入後に初めて起動した場合や、現在日時と異なる場合に下記手順で、日時設定(\*)を行います。

\* 時計の誤差：約± 150 秒 / 月

16 ページ「メインメニューについて」を参照し、[設定] モードを選択し、メニュー[≡] ボタン (7) を押します。

### 設定モード画面



- 次に設定メニューを表示しますので、[◀▶] ボタン (9) で [日時設定] を選択し、メニュー[≡] ボタン (7) を押して、日時設定メニューを表示します。
- モードメニューから目的の項目を [◀▶] ボタン (9) で選択し、メニュー[≡] ボタン (7) で決定します。

### 日時・時計選択画面

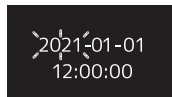


- [時計設定] を選択した場合、[12H] または [24H] を [◀▶] ボタン (9) で選択します。

### 時計設定画面



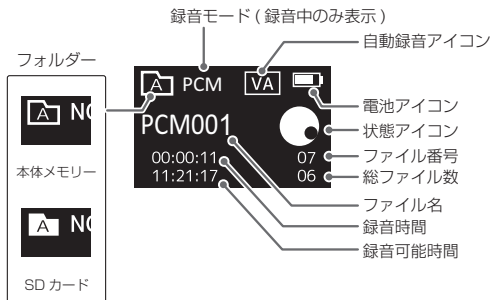
- メニュー[≡] ボタン (7) で決定します。選択後、前の画面に戻ります。続けて、モードメニューから [◀▶] ボタン (9) で [日時設定] を選択し、メニュー[≡] ボタン (7) で決定します。
- 日時設定画面で [年] 表示が点滅しますので、[◀▶] ボタン (9) 押すと、数字が増減しますので、目的の数字を選択します。



- メニュー[≡] ボタン (7) を押して、次の項目に移動します。
- 次に [月] 表示が点滅しますので、手順 5. の操作を行います。
- 手順 5～手順 7 を繰り返して、「年/月/日/時/分/秒」の設定が完了したら、[決定] ボタン (10) を押して決定します。
- 決定後にもう一度、[決定] ボタン (10) を押すと設定モード画面に戻ります。

## 録音するには

### 録音時の画面



- 録音形式 : PCM/NC/HQ/SP/SLP  
(21 ページ「録音形式設定」を参照)
- 電池アイコン : 電池の残量を表示します。
- 自動録音アイコン : 自動録音設定がオンの場合、録音開始時に [VA] と表示します。  
(21 ページを参照)
- 状態アイコン : 実行中の状態をアイコンで表示
- ファイル番号 : 録音中のファイル番号
- 総ファイル数 : フォルダー内のファイル数
- ファイル名 : 録音中のファイル名
- 録音時間 : 録音中の経過時間
- 録音可能時間 : 残りの録音可能時間
- フォルダー : 録音ファイルの保存先フォルダー

## 録音操作

1. 本機の起動後にメニュー [≡] ボタン (⑦) を長押しして、メインメニューを表示します。(右図 ①)
2. [◀/▶] ボタン (⑨) で音声モードを選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定します。(右図 ②)
3. 📢 ボタン (⑩) を長押しして、録音ファイルの保存先を [A] ~ [D] フォルダーから選択します。(右図 ③)
  - 📢 ボタン (⑩) を長押しする毎に、選択フォルダー (\*) が、順に切り換わります。
  - SD カード、または本体メモリーへの切り換えは、[保存場所設定] を参照してください。(P.43)
    - \* [MUSIC][🎵] フォルダーへの保存は、できません。
  - [A] ~ [D] フォルダーには、最大 [99] ファイル×4 フォルダー (合計 396 ファイル) まで保存できます。
4. [■●●] スイッチ (⑥) を録音側 [●] にスライドすると録音がスタートします。(右図 ④)

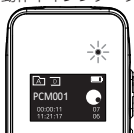


- 録音がスタートすると録音中は、画面に [ ● ] アイコンを表示します。

録音 LED 設定 (\*) が "オン" の場合、動作表示インジケーターが [赤] に点灯します。(右図 ⑤)

\* 録音 LED 設定は、システム設定を参照してください。(P.41)

⑤ 動作中インジケーター



- 本機上部にあるマイクを録音する音源の方向に向けてください。

- 録音中に [▶||] ボタン (⑧) を押すと、録音が一時停止します。再度、ボタンを押すと録音が再開します。(右図 ⑥)

⑥ 録音一時停止

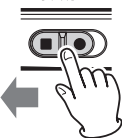


- 録音の一時停止中は、録音 LED 設定が "オン" の場合、動作表示インジケーターが [赤] に点滅します。(右図 ⑦)

⑦ 動作中インジケーター



⑧ 録音停止



5. 録音を終了するには、[■●] スイッチ (⑥) を停止側 [■] にスライドすると録音を終了し、録音ファイルを手順 3. で選択したフォルダーに保存します。(右図 ⑧)

6. 録音が終了すると動作表示インジケーターが消灯します。

- 保存データが使用可能なメモリー容量 (\*) を超える、または録音ファイルが 99 ファイル / 1 フォルダーに達すると録音を停止します。

また、メモリー容量を超えた場合、画面に "メモリー残無し" と表示します。

その場合、録音ファイルの一部をパソコンに保存し、保存後に本機から不要になった録音ファイルを削除し、メモリー容量を確保してください。

\* 本体：8GB、microSD カード：32GB(最大)

(本体の内蔵メモリーの使用可能領域は、表示容量より少なくなります。)

- 録音中は、誤動作防止により電源をオフにできません。電源をオフにする場合は、手順 5. を参考に一旦、録音を停止してから、電源をオフしてください。

## メモ


- 自動録音 (音声認識) の設定がオンになっていると、本機が音声に反応するまで録音がスタートしません。自動録音の設定は、21 ページ「自動録音 (音声認識) 設定」を参照してください。
- 本機では、5 種類の録音形式が選択できます。希望する録音形式を事前に選択してください。(21 ページ「録音形式設定」を参照)
- 録音中に [▶▶] (進む) ボタンを押すと、その時点までの録音ファイルを手順 3. で指定したフォルダーに保存され、次の新しいファイルに録音を開始します。(手動分割)


## 録音設定


録音時の設定を行います。



### メモ

停止状態から下記操作を行ってください。

- メニュー [≡] ボタン (7) を長押しして、メインメニューを表示します。(右図 ①)  
●すでに音声モード中の場合は、手順 3. から操作を行ってください。  


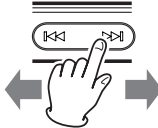
① メニューボタン
- [◀▶] ボタン (9) で音声モードを選択し、メニュー [≡] ボタン (7) で決定します。(右図 ②)  



② 音声モード選択
- もう一度、メニュー [≡] ボタン (7) を押して、録音設定メニューを開きます。(右図 ③)  


③ 録音設定メニュー
- 録音設定メニューから希望する項目を [◀▶] ボタン (9) で選択し、メニュー [≡] ボタン (7) で決定します。(右図 ④)  
●手前の操作に戻る場合は、 ボタン (10) を押すと戻ります。  


④ 録音設定メニュー選択

録音形式  
自動録音  
モニター

- 次に希望する項目を [◀▶] ボタン (9) で選択し、メニュー [≡] ボタン (7) で決定します。(右図 ⑤)  


モード選択
- 必要な項目設定が完了するまで、手順 3. から手順 5. を繰り返します。
- 録音設定メニューを終了するには、メニュー内の [戻る] または  ボタン (10) を押すと、設定メニューを閉じます。  
●録音設定の設定メニューやモード設定は、下記表を参照してください。

設定メニュー	モード						詳細
録音形式	PCM	NC	HQ	SP	SLP	--	P.21
自動録音	オフ			オン			P.21
モニター	オフ			オン			P.21
予約録音	予約日時	日付設定	ソース設定	FMラジオ	録音時間	30分	P.22
		時間設定				60分	
				120分			
				連続			
自動分割録音	オフ		60分	30分		P.24	
File 消去	YES			NO			P.25
全消去	YES			NO			P.25

### 注意

各種設定中にメニュー [≡] ボタン (7) を長押しするとメインメニューに戻りますので、ご注意ください。

## 録音形式設定

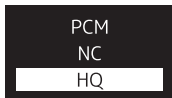
録音を行う際の録音形式の設定を行います。

- 20 ページの [ 録音設定 ] を参考に設定メニューの [ 録音形式 ] を開きます。
- [ 録音形式 ] 内の形式設定から、目的の項目を [ ◀◀/▶▶ ] ボタン (⑨) で選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) で決定します。

### メモ

- SP、SLP モードは、長時間録音が優先のため、録音品質が低くなります。大事な録音を行う際は、HQ モード以上、または周りの騒音ノイズを軽減して、録音を行う際には NC モード (ノイズキャンセル) で、録音することを推奨します。
- 録音形式の初期設定は、[HQ] になっています。

#### 録音形式選択 画面



モード	ビットレート	拡張子	音質	録音ファイル名/(サイズ)
PCM	1536 kbps	WAV	最高音質	PCM 001.WAV/(大)
NC	384 kbps	WAV	高音質	RNC 001.WAV/(大)
HQ	128 kbps	MP3	通常音質	RHQ 001.MP3/(中)
SP	32 kbps	MP3	低音質	RSP 001.MP3/(小)
SLP	8 kbps	MP3	低音質	SLP 001.MP3/(小)

## 自動録音 (音声認識) 設定

録音を行う際に、音声に反応して自動で録音のスタート、または録音の一時停止を行います。

### メモ

大事な録音を行う際は、自動録音をオフにしてください。

- 20 ページの [ 録音設定 ] を参考に設定メニューの [ 自動録音 ] を開きます。
- [ 自動録音 ] 内のモード設定から、目的の項目を [ ◀◀/▶▶ ] ボタン (⑨) で選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) で決定します。

#### 自動録音選択 画面



モード	本機の動作
オフ	音声自動録音をオフにします。
オン	音声自動録音をオンにします。

- 自動録音設定がオンの場合、録音開始時に [VA] と画面に表示します。

## モニター設定

イヤホンから録音中の音声聞こえるように設定します。

- 20 ページの [ 録音設定 ] を参考に設定メニューの [ モニター ] を開きます。
- [ モニター ] 内のモード設定から、目的の項目を [ ◀◀/▶▶ ] ボタン (⑨) で選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) で決定します。

### モニター選択 画面



モード	本機の動作
オフ	録音中、イヤホンから音声は聞こえません。
オン	録音中、イヤホンから音声聞こえます。

## 予約録音設定

設定した日時と選択したソース (音声、FM ラジオ) で、自動的に録音を開始します。

### 注意

- 予約録音を行う前に、[ システム設定 ] から本機の日時設定を行ってください。(46 ページ「日時設定」を参照)
  - 電源がオフ状態でも予約録音を設定している場合、指定時刻に電源がオンになり、予約録音を開始します。
- 20 ページの [ 録音設定 ] を参考に設定メニューの [ 予約録音 ] を開きます。
  - [ 予約録音 ] 内のモード設定から、目的の項目を [ ◀◀/▶▶ ] ボタン (⑨) で選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) で決定します。

### 予約録音画面



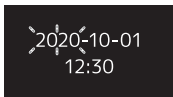
モード	本機の動作
予約日時	予約録音を開始する日時を設定します
ソース設定	予約録音を行う FM ラジオ、またはマイクを選択します。
録音時間	予約録音の録音時間を選択します。

## 予約録音 - 予約日時設定

予約録音の希望日時の設定を行います。

- 22 ページの [ 予約録音設定 ] を参考に、[ 予約日時 ] を選択します。
- その状態でメニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) を押すと、[ 予約日時 ] 画面を表示します。

### 予約日時画面



- [ 年 ] 表示が点滅しますので、[ ◀▶ ] ボタン (⑨) を押すと、数字が増減しますので、目的の数字を選択します。
- メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) を押して決定し、次の項目に移動します。
- 次に [ 月 ] 表示が点滅しますので、手順 3. の操作を行います。
- 手順 3 ~ 手順 5 を繰り返して、「年 / 月 / 日 / 時 / 分」の設定が完了したら、▶ ボタン (⑩) を押して決定します。
- もう一度、▶ ボタン (⑩) を押して、[ 予約日時 ] 画面を閉じます。

## 予約録音 - ソース設定

予約録音を行う FM ラジオ、またはマイク録音のどちらかの選択をします。

- 22 ページの [ 予約録音設定 ] を参考に、[ 録音設定 ] を選択します。
- その状態でメニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) を押すと、[ 録音設定 ] 画面を表示します。

### 録音設定選択画面



モード	本機の動作
FM ラジオ	FM ラジオの予約録音を行います。
マイク	マイクからの音声を予約録音を行います。

- [ 録音設定 ] 画面で、目的の項目を [ ◀▶ ] ボタン (⑨) で選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) で決定します。

### メモ

- FM ラジオを録音する際は、事前に放送局のチャンネル登録を行ってください。(34 ページ「ラジオ設定」を参照)
- ラジオ放送の録音形式は、HQ 録音 (MP3/128 kbps) のみとなります。
- 録音したファイルは、[ 録音操作 ] (18 ページ) で、選択したフォルダーに保存されます。

## 予約録音 - 録音時間設定

予約録音の録音時間を選択します。

- 22 ページの [ 予約録音設定 ] を参考に、[ 録音時間 ] を選択します。
- その状態でメニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) を押すと、[ 録音時間 ] の選択画面を表示します。

モード	本機の動作
30 分	30 分間録音を行い、自動的に保存して終了します。
60 分	60 分間録音を行い、自動的に保存して終了します。
120 分	120 分間録音を行い、自動的に保存して終了します。
連続	手動で停止するまで、録音状態を継続します。

- [ 録音時間 ] 設定画面で、目的の項目を [ ◀▶ ] ボタン (⑨) で選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) で決定します。

- 予約録音中に録音を停止 (\*) するには、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) を押してください。

\* それまでの録音内容を保存して、録音を停止します。

- 予約録音を設定している場合、電源オンの起動画面に "TASCAM 予約有" と表示します。

起動画面 (予約有)



- 予約録音中は自動分割録音の設定は無効になります。

## 自動分割録音設定

録音中に設定した分割時間で、ファイルを保存します。録音ファイルは、録音を継続しながら、分割時間で別ファイルとして保存 (\*) します。

\* 保存処理中は、数秒の音切れが発生します。

- 20 ページの [ 録音設定 ] を参考に設定メニューの [ 自動分割録音 ] を開きます。
- [ 自動分割録音 ] 内のモード設定から、目的の項目を [ ◀▶ ] ボタン (⑨) で選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) で決定します。

自動分割録音選択画面



モード	本機の動作
オフ	自動分割オフ
60 分	録音を 60 分毎に分割して、ファイル保存を行います。
30 分	録音を 30 分毎に分割して、ファイル保存を行います。

- 自動分割録音がオフの場合

連続録音が 1 時間、または 10 時間 (\*) を経過すると録音を継続しながら、一度ファイルの保存を行います。

\* 内蔵バッテリーでの連続録音 (自動分割録音も含む) 時間は、バッテリー残容量により時間通りに録音できない場合があります。また、PCM 録音は 1 時間で分割、それ以外は 10 時間で自動分割します。(手動分割については、19 ページの [ メモ ] を参照してください。)



## File 消去 / 全消去設定

保存したファイルの削除方法を選択します。

### メモ

削除したいファイルやフォルダーを決めてから、[File 消去]、または [全消去] を行ってください。

- 20 ページの [録音設定] を参考に設定メニューの [File 消去]、または [全消去] を選択します。

### File 消去 / 全消去 選択画面



- [File 消去]、または [全消去] 内のモード設定から、[YES]、または [NO] の項目を [◀◀/▶▶] ボタン (⑨) で選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定します。

### [File 消去]

削除されるファイル



### [全消去]

削除されるフォルダー

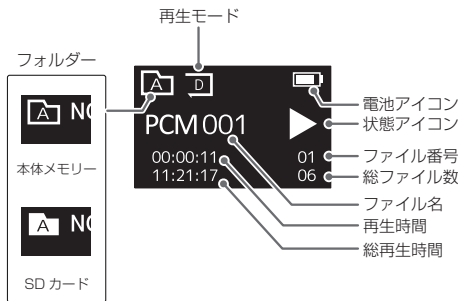


設定メニュー	本機の動作
File 消去	選択中の録音ファイルを削除します。
全消去	選択中のフォルダー内全ての録音ファイルを削除します。

- [File 消去]、または [全消去] が終わると、音楽画面に戻ります。

## 再生するには

### 再生時の画面



- 再生モード : リピート (28 ページを参照)
- 電池アイコン : 電池の残量を表示します。
- 状態アイコン : 実行中の状態をアイコンで表示
- ファイル番号 : 再生中のファイル番号
- 総ファイル数 : フォルダ内のファイル数
- ファイル名 : 再生中のファイル名
- 再生時間 : 再生中の経過時間
- 総再生時間 : 再生中のファイル総時間
- フォルダ : 再生ファイルの保存先フォルダ

## 再生操作 (録音ファイル)

1. 本機の起動後にメニュー [≡] ボタン (⑦) を長押しして、メインメニューを ① メニューボタン 表示します。(右図 ①)
2. [◀◀/▶▶] ボタン (⑨) で音声モードを選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定します。(右図 ②)
3. 📢 ボタン (⑩) を長押しして、再生ファイルの保存先を [A] ~ [D]、[F] フォルダから選択します。(右図 ③)
  - 📢 ボタン (⑩) を長押しする毎に、選択フォルダ (\*) が、順に切り替わります。
  - SD カード、または本体メモリーへの切り換えは、[保存場所設定] を参照してください。(43 ページ)  
\* 再生中や一時停止中の状態では、フォルダ切り換えを行えません。停止中のみ可能です。  
再生や一時停止中を停止するには、[▶||] ボタン (⑧) を長押しして、本機を停止させてください。
4. [◀◀/▶▶] ボタン (⑨) で再生したいファイル番号を選択します。(右図 ④)

① メニューボタン



② 音声モード選択



③ フォルダ選択



④ ファイル選択



5. [▶||] ボタン (⑧) を押すと再生がスタートします。(右図 ⑤)

- 再生中は、画面に [▶] アイコンを表示します。
- 再生がスタートすると動作表示インジケータが [緑] に点灯します。(右図 ⑥)
- 再生がスタートすると本機下部にある内蔵スピーカーから音がでます。

⑤ 再生スタート



6. 再生中に、[▶||] ボタン (⑧) を押すと再生が一時停止します。(右図 ⑦)

- 再生の一時停止中は、動作表示インジケータが [緑] に点滅します。(右図 ⑧)

⑥ 動作中インジケータ



⑦ 再生一時停止



⑧ 動作中インジケータ



- 再生中にメニュー [≡] ボタン (⑦) を押すと、以下の再生モードを選択できます。

再生モード	選択項目
Repeat (*1) リピート	オフ(ノーマル)/Folder(フォルダー)/ Single(1曲)/Random(ランダム)
再生速度(*2)	[-8](遅く)~[+8](速く)の±8段階(4%刻み)

\*1 リピート再生の機能については、28 ページ「リピート設定」を参照。

\*2 再生速度の設定方法は、29 ページ「再生速度設定」を参照。

### 注意

各種設定中にメニュー [≡] ボタン (⑦) を長押しするとメインメニューに戻りますので、ご注意ください。

## 再生中に操作可能な動作

本機は、再生中に以下の動作が可能です。

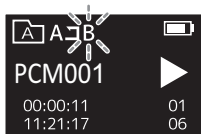
操作ボタン	ボタン操作	画面アイコン	本機の動作
▶   ボタン	1 回押し	▶	再生
	長押し		一時停止
◀◀ ボタン	1 回押し	--	戻る(前曲の先頭から再生開始)
	長押し	--	早戻し (曲の先頭まで戻り、ボタンを離すと停止)
▶▶ ボタン	1 回押し	--	進む(次曲の先頭から再生開始)
	長押し	--	早送り (曲の終わりまで進み、ボタンを離すと次曲を再生)

## 再生設定

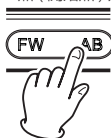
### A-B 間リピート

指定した A 点と B 点の区間を繰り返し、リピート再生を行います。(自動的に 5 回リピート後、通常再生に戻ります。)  
26 ページの [再生操作] を参考に、再生するファイルを選択して、再生を開始します。

1. 再生中にリピートを開始したい箇所 (A 点) で、**AB** ボタン (⑪) を押します。(右図 ①)
2. 画面に [**A**] アイコンが表示され、**[B]** アイコンが点滅した状態となります。



① A 点 (開始点) 選択

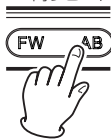


② B 点 (終了点) 選択



3. リピートを終了したい箇所 (B 点) で、**AB** ボタン (⑪) を押すと、A-B 間のリピート再生をスタートします。(右図 ②)
4. **AB** リピート再生を終了したい場合、もう一度 **AB** ボタン (⑪) を押すと、通常再生に戻ります。(右図 ③)

③ A-B 間リピート終了



## リピート設定

リピート再生の設定を行います。  
26 ページの [再生操作] を参考に、再生するファイルを選択して、再生を開始します。

1. 再生中にメニュー [**≡**] ボタン (⑦) を押します。
2. 画面に再生モードを表示します。

[**◀◀/▶▶**] ボタン (⑨) で [Repeat] を選択し、メニュー [**≡**] ボタン (⑦) で決定します。

再生モード選択 画面







- [戻る] を選択する、または **◀** ボタン (⑩) を押すと再生画面に戻ります。
3. [**◀◀/▶▶**] ボタン (⑨) で目的の再生方法を選択し、メニュー [**≡**] ボタン (⑦) で決定します。

リピートモード選択 画面



- リピート再生機能は、次表を参照してください。
4. **◀** ボタン (⑩) を押すと、再生画面に戻ります。

再生方法	アイコン	本機の動作
オフ (ノーマル)		フォルダー内全てのファイルを順番に再生して、最後のファイルで停止します。
Folder (フォルダー)		フォルダー内全てのファイルを順番に繰り返し再生を行います。
Single (1 曲)		1 ファイルを繰り返し再生を行います。
Random (ランダム)		フォルダー内全てのファイルをランダムに再生します。

## メモ

- 再生方法を選択すると、前の画面 (再生モード選択画面) に戻ります。
- 再生 / 一時停止中に、[▶||] ボタン (⑧) を長押しすると停止状態になります。

## 再生速度設定

再生時の再生速度を設定できます。

26 ページの [再生操作] を参考に、再生するファイルを選択して、再生を開始します。

- 再生中にメニュー [≡] ボタン (⑦) を押します。
- 画面に再生モードを表示します。

[◀◀/▶▶] ボタン (⑨) で [再生速度] を選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定します。

### 再生モード選択 画面



- [戻る] を選択すると再生画面に戻ります。
- [◀◀/▶▶] ボタン (⑨) で目的の再生速度を選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定します。
    - [−8 (遅く)] ~ [+8 (速く)] の±8 段階 (4% 刻み) で、設定可能です。

### 再生速度選択 画面



- 再生速度を選択後にもう一度、メニュー [≡] ボタン (⑦) を押し、再生画面に戻ります。

## 音量設定

本機の再生時の音量を設定できます。

1. 停止 / 再生中に  ボタン (⑩) を押します。
2. 画面に音量画面を表示します。

### 音量設定画面



3. [◀◀/▶▶] ボタン (⑨) で目的の音量を選択します。
  - [MIN・01・・・05・・・09・MAX] の 11 段階で設定可能です。

### 音量選択画面



4. 音量を選択後にもう一度、 ボタン (⑩) を押すと、再生画面に戻ります。

## レッスン再生設定

例えば、本機に語学教材などの音源を保存しておき、音源の再生中にご自分の発音をすぐに録音 (最長 30 秒、ファイル保存 (\*) せず) して、確認したい場合に適しています。

\* レッスン録音の際、"TEMP" フォルダが作成されますが、本機の動作に問題ありません。

録音・再生後は、再生中の音源に戻ります。

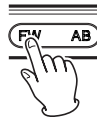
26 ページの [再生操作] を参考に、再生するファイルを選択して、再生を開始します。

1. 再生中に FW ボタン (⑫) を押します。  
(右図 ①)

2. 画面にマイクアイコンが表示され、録音を開始します。



- ① FW ボタン選択



- ② 録音停止



3. 録音中に [▶ ||] ボタン (⑧) 押すと、録音を停止し、録音した内容を自動再生します。(右図 ②)

もしくは、録音開始後 30 秒経過すると、自動的に録音停止して、録音した内容の自動再生を行います。

- 自動再生中は、画面にスピーカーアイコンを表示します。(右図 ③)

- ③ 再生中



## 音楽ファイルの再生設定

[MUSIC][📁] フォルダー内の音楽ファイルを再生します。

### 再生時の画面

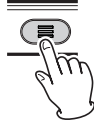


- 再生モード : リピート (28 ページを参照)
- EQ アイコン : イコライザー (33 ページを参照)
- 電池アイコン : 電池の残量を表示します。
- 状態アイコン : 実行中の状態をアイコンで表示
- ファイル番号 : 再生中のファイル番号
- 総ファイル数 : フォルダーのファイル数
- ファイル名 : 再生中のファイル名
- 再生時間 : 再生中の経過時間
- 総再生時間 : 再生中のファイル総時間
- フォルダー : 再生ファイルの保存先フォルダー

## 再生操作 (音楽ファイル)

1. 本機の起動後にメニュー [≡] ボタン (⑦) を長押しして、メインメニューを表示します。(右図 ①)

① メニューボタン



2. [⏮/⏭] ボタン (⑨) で音楽モードを選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定します。(右図 ②)

② 音楽モード選択



3. または、🔊 ボタン (⑩) を長押しして、音楽ファイルを保存してある [📁] フォルダーを選択します。(右図 ③)

③ フィルダ選択



- 🔊 ボタン (⑩) を長押しする毎に選択フォルダー (\*) が、順に切り換わります。

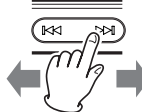
- SD カード、または本体メモリーへの切り換えは、[保存場所設定] を参照してください。(43 ページ)

\* 再生中や一時停止中の状態では、フォルダー切り換えを行えません。停止中のみ可能です。

再生や一時停止中を停止するには、[▶||] ボタン (⑧) を長押しして、本機を停止させてください。

4. [⏮/⏭] ボタン (⑨) で再生したいファイル番号を選択します。(右図 ④)

④ ファイル選択



5. [▶||] ボタン(⑧)を押すと再生がスタートします。(右図⑤)

- 再生中は、画面に[▶]アイコンを表示します。
- 再生がスタートすると動作表示インジケータが[緑]に点灯します。(右図⑥)
- 再生がスタートすると本機下部にある内蔵スピーカーから音がでます。

6. 再生中に、[▶||] ボタン(⑧)を押すと再生が一時停止します。(右図⑦)

- 再生の一時停止中は、動作表示インジケータが[緑]に点滅します。(右図⑧)

7. 再生 / 一時停止を停止するには、[▶||] ボタン(⑧)を長押しして、本機を停止させてください。

#### メモ

本機で再生可能な音楽ファイルは、以下のファイルフォーマットになります。

- [MP3、WAV、AAC、WMA]

⑤ 再生スタート



⑥ 動作中インジケータ



⑦ 再生一時停止



⑧ 動作中インジケータ



## SD カード内の音楽ファイルの再生

SD カード内の音楽ファイルを再生するには、以下の手順で行ってください。

1. 本機で初期化(\*)したSDカードをセットし、お使いのPCに付属のUSBケーブルを使って接続します。  
\* 44 ページ「初期化設定」を参照
2. SD カード内の [MUSIC] フォルダ内の直下に音楽ファイルを保存します。
3. 音楽ファイルを再生する際、システム設定の [保存場所設定] (P.43) で [SD] を選択してから、31 ページの [再生操作] を参考に、再生を開始してください。

#### メモ

各種再生方法は、以下のページを参照してください。

- [A-B 間リピート] : 28 ページを参照
- [リピート設定] : 28 ページを参照
- [再生速度設定] : 29 ページを参照
- [音量設定] : 30 ページを参照
- [レッスン再生設定] : 30 ページを参照
- [File 消去 / 全消去設定] : 25 ページを参照



## EQ(イコライザー)設定

イコライザー設定は、音楽ファイルの再生時に設定可能です。  
(録音した音声ファイルの再生時には、イコライザー設定はできません。)

31 ページの [再生操作] を参考に、再生するファイルを選択して、再生を開始します。

1. 再生中にメニュー [≡] ボタン (⑦) を押します。
2. 画面に再生モードを表示します。

[◀◀/▶▶] ボタン (⑨) で [EQ] を選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定します。

### 再生モード選択 画面



- [戻る] を選択、または ◀ ボタン (⑩) を押すと再生画面に戻ります。

3. [◀◀/▶▶] ボタン (⑨) で目的のイコライザーを選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定します。

### EQ モード選択 画面



4. ◀ ボタン (⑩) を押すと、再生画面に戻ります。
  - イコライザー機能は、下記のモードが選択できます。

選択モード	画面表示
ノーマル	ノーマル
Rock (ロック)	ROCK
Pop (ポップ)	POP
Soft (ソフト)	SOFT
Jazz (ジャズ)	JAZZ
Classic (クラシック)	CLAS
重低音	BDS

## ラジオ設定

イヤホン端子 (①) に付属のイヤホン (\*) を差し込みます。

\* 本機に付属するイヤホンは、FM ラジオのアンテナと兼用になっています。ラジオをお聞きになる場合は、必ずイヤホンを差し込んでご使用ください。

### 注意

ラジオ放送はイヤホン専用ですので、内蔵スピーカーで聞くことはできません。

1. 本機の起動後にメニュー [≡] ボタン (⑦) を長押しして、メインメニューを ① メニューボタン表示します。(右図 ①)



2. [◀▶] ボタン (⑨) で FM ラジオモードを選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定します。(右図 ②)

② FM ラジオモード  
選択

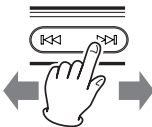


3. 画面に周波数を画面を表示します。

### FM ラジオ受信画面



③ 放送局選択



4. [◀▶] ボタン (⑨) を長押しすると、自動選局を開始します。(右図 ③) また、[◀▶] ボタン (⑨) を 1 回押すと、周波数が [0.1MHz] 毎に増減します。

## ラジオ設定 - 自動登録設定

FM 放送で受信可能な放送局を自動で選局し、チャンネル登録を行います。

前述の [ラジオ設定] を参考に、手順 3. の FM ラジオ受信画面を表示します。

1. メニュー [≡] ボタン (⑦) を押して、ラジオメニューを表示します。

[◀▶] ボタン (⑨) で [自動登録] を選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定します。

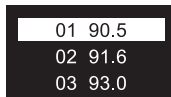
### ラジオメニュー画面



2. [◀▶] ボタン (⑨) で [はい] を選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定すると、画面に [サーチ中] と表示して、自動選局登録を開始します。

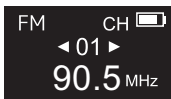
3. 自動選局が終わると、受信した放送局に番号を付けて、一覧表示します。

### 自動選局一覧の画面



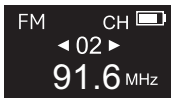
4. 自動選局登録後、FM ラジオ受信画面に戻り、FW ボタン (⑫) を押して、画面に [CH] と表示させます。

#### FM ラジオ受信画面



- [CH] 表示は、メインメニューをラジオモード以外に切り換えると非表示になります。

5. [◀/▶] ボタン (⑨) を押して、登録後の放送局を検索してください。



- 登録済みの放送局は、周波数表示の上にチャンネル番号を表示します。

CH 表示 有	[◀/▶] ボタン	1 回押し	登録チャンネルの選局
CH 表示 無	[◀/▶] ボタン	長押し 1 回押し	自動選局 [0.1MHz] 毎に増減

## ラジオ設定 - 手動登録設定

FM 放送で受信可能な放送局を手動で選局し、チャンネル登録を行います。

### メモ

登録数は、[01 ~ 40] の最大 40 局を登録可能です。

34 ページの [ラジオ設定] を参考に、手順 4. の放送局の選局で、希望の放送局を受信します。

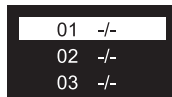
1. メニュー [≡] ボタン (⑦) を押して、ラジオメニューを表示します。

[◀/▶] ボタン (⑨) で [登録] を選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定します。

#### ラジオメニュー画面



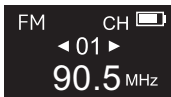
2. 画面にチャンネル登録画面が表示されます。



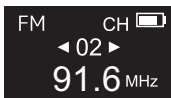
3. [◀/▶] ボタン (⑨) で、登録したいチャンネル番号を選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定します。

- [◀◀/▶▶] ボタン (⑨) で [はい] を選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定すると、[保存] と表示され、選局した放送局をチャンネル番号に登録します。
- チャンネル登録を完了し、FM ラジオ受信画面に戻り、FW ボタン (⑫) を押して、画面に [CH] と表示させます。

#### FM ラジオ受信画面



- [CH] 表示は、メインメニューをラジオモード以外に切り換えると非表示になります。
- 登録した放送局を [◀◀/▶▶] ボタン (⑨) で、確認してください。



- 登録済みの放送局は、周波数表示の上にチャンネル番号を表示します。

## ラジオ設定 - ラジオ録音

ラジオ放送の録音を行います。

### メモ

- ラジオ放送の録音形式は、HQ 録音 (MP3/128 kbps) のみとなります。
- 録音したファイルは、[録音操作] (18 ページ)、もしくは [再生操作] (26 ページ) で、最終選択したフォルダー [A] ~ [D] のいずれかに保存されます。
- USB 充電機器によっては、充電しながらの FM ラジオの受信や録音にノイズが発生することがあります。その場合、USB 充電機器を使用しないで、本機をご使用ください。

34 ページの [ラジオ設定] を参考に、手順 3. の FM ラジオ受信画面を表示します。

- 録音したい放送局を手動、または登録したチャンネル番号を [◀◀/▶▶] ボタン (⑨) で選局します。
- 選局後、メニュー [≡] ボタン (⑦) を押して、ラジオメニュー画面を表示します。

#### ラジオメニュー画面



[◀◀/▶▶] ボタン (⑨) で [FM 録音] を選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定します。

## 注意

FM 録音中に、[■●●] スイッチ (⑥) を録音側 [●] にすると、マイク録音に切り換わり、FM 録音が停止します。)

### 3. FM 録音を開始します。

録音中は、画面に [●] アイコンを表示します。

#### ラジオ録音中の画面



- 録音がスタートすると動作表示インジケータが [赤] に点灯します。

#### 動作中インジケータ



- 録音中に [▶||] ボタン (⑧) を押すと、録音が一時停止します。録音の一時停止中は、動作表示インジケータが [赤] に点滅します。

#### 動作中インジケータ



- 再度、ボタンを押すと録音が再開します。ラジオ録音を終了するには、メニュー [≡] ボタン (⑦) を押します。

ラジオ録音が終了と同時に "RFMXXX.MP3" のファイル名で、最終選択したフォルダー [A] ~ [D] のいずれかに保存されます。

### 4. 画面は、FM ラジオ受信画面になります。

#### FM ラジオ受信画面



## ラジオ設定 - 登録チャンネル消去 / 全消去

登録したチャンネルの削除、または全ての登録チャンネルを一括削除します。

34 ページの [ラジオ設定] を参考に、手順 3. の FM ラジオ受信画面を表示します。

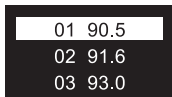
1. メニュー [≡] ボタン (7) を押して、ラジオメニューを表示します。

[◀▶] ボタン (9) で [登録消去]、または [全消去] を選択し、メニュー [≡] ボタン (7) で決定します。

### ラジオメニュー画面



- [登録消去] : 登録した放送局を 1 チャンネル毎に消去します。
  - [全消去] : 登録した放送局を一括削除します。
2. [登録消去] を選択した場合、登録チャンネルの一覧を表示しますので、[◀▶] ボタン (9) で、消去したい登録チャンネルを選択します。



3. メニュー [≡] ボタン (7) を押し、[◀▶] ボタン (9) で [はい]、または [いいえ] を選択し、メニュー [≡] ボタン (7) で決定します。



- [いいえ] を選択した場合、1 つ前の画面に戻ります。
  - [登録消去] が終わると [消去完了] を表示して、FM ラジオ受信画面に戻ります。
  - 他の登録チャンネルを消去する場合、手順 1. ~ 手順 3. を繰り返します。
4. [全消去] を選択した場合、ラジオメニューから [◀▶] ボタン (9) で [はい]、または [いいえ] を選択し、メニュー [≡] ボタン (7) で決定します。



- [いいえ] を選択した場合、1 つ前の画面に戻ります。
- [全消去] が終わると [消去完了] を表示して、FM ラジオ受信画面に戻ります。

## システム設定

### 各種設定メニューの内容

設定メニュー	モードメニュー					詳細
表示オフ	15 秒	30 秒	45 秒	60 秒	オン	P.40
輝度	1 ~ 5					P.40
自動オフ	5 分	15 分	30 分	60 分	オフ	P.41
録音 LED	オン		オフ			P.41
言語	日本語		English			P.42
操作音	オフ	小	中	大		P.42
保存場所	本体		SD カード			P.43
本体情報	残容量		全容量			P.43
SD 情報	残容量		全容量			P.44
初期化	本体		SD カード			P.44
FW	VR-02 X.XX					P.45
日時設定	時計設定		日時設定			P.46
リセット	はい		いいえ			P.47

### メモ

- 設定メニューの [ 初期化 ] は、microSD カードが挿入されていない場合、画面に [ 本体 ] のみ表示します。
- 設定メニューの [ 保存場所 ] で、microSD カードが挿入されていない状態で選択した場合、画面に [ カード無 ] と表示します。

## 本体操作

- 本機の起動後にメニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) を長押しして、メインメニューを表示します。
- [ ◀▶ ] ボタン (⑨) で設定モードを選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) で決定します。

### 設定モード画面



- 設定メニュー画面から目的の項目を [ ◀▶ ] ボタン (⑨) で選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) で決定します。

### 設定メニュー画面



- 設定メニュー内の [ 戻る ]、または ◀ ボタン (⑩) を押すと前の画面に戻ります。

## 表示オフ設定

一定時間本機を使用しない場合、画面の表示を設定した時間で消灯します。

39 ページの [ 本体操作 ] を参考に、設定メニューを表示します。

1. [ ◀▶▶ ] ボタン (⑨) で [ 表示オフ ] を選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) を押して、モードメニューを表示します。

表示オフ設定画面



- [15 秒] ~ [60 秒]、[ オン ] の間で設定可能です。
2. モードメニューから目的の項目を [ ◀▶▶ ] ボタン (⑨) で選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) で決定します。選択後、前の画面に戻ります。

モード	本機の動作
15 秒	無操作状態の場合、15 秒後に画面消灯
30 秒	無操作状態の場合、30 秒後に画面消灯
45 秒	無操作状態の場合、45 秒後に画面消灯
60 秒	無操作状態の場合、60 秒後に画面消灯
オン	常時画面をオン

- 設定メニュー内の [ 戻る ]、または ◀ ボタン (⑩) を押すと前の画面に戻ります。

## 輝度設定

画面の明るさを調整します。

39 ページの [ 本体操作 ] を参考に、設定メニューを表示します。

1. [ ◀▶▶ ] ボタン (⑨) で [ 輝度 ] を選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) を押して、モードメニューを表示します。

輝度設定画面



- [1] (暗く) ~ [5] (明るく) の間で設定可能です。
2. モードメニューから目的の項目を [ ◀▶▶ ] ボタン (⑨) で選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) で決定します。選択後、前の画面に戻ります。
- 設定メニュー内の [ 戻る ]、または ◀ ボタン (⑩) を押すと前の画面に戻ります。



## 自動オフ設定

一定時間本機を使用しない場合、設定した時間(\*)で電源をオフにします。

\* 充電中は、自動オフ設定に関係なく常時オンになります。

39 ページの [ 本体操作 ] を参考に、設定メニューを表示します。

1. [ ◀◀/▶▶ ] ボタン (⑨) で [ 自動オフ ] を選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) を押して、モードメニューを表示します。

### 自動オフ設定画面



モード	本機の動作
5分	無操作状態の場合、5分後に電源オフ
15分	無操作状態の場合、15分後に電源オフ
30分	無操作状態の場合、30分後に電源オフ
60分	無操作状態の場合、60分後に電源オフ
オフ	常時電源をオン

2. モードメニューから目的の項目を [ ◀◀/▶▶ ] ボタン (⑨) で選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) で決定します。選択後、前の画面に戻ります。
  - 設定メニュー内の [ 戻る ]、または ◀ ボタン (⑩) を押すと前の画面に戻ります。
  - 自動オフ状態からの復帰方法は、通常の電源オンで復帰します。

## 録音 LED 設定

録音中の動作表示インジケータの LED 点灯を設定します。39 ページの [ 本体操作 ] を参考に、設定メニューを表示します。

1. [ ◀◀/▶▶ ] ボタン (⑨) で [ 録音 LED ] を選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) を押して、モードメニューを表示します。

### 録音 LED 設定画面



2. モードメニューから目的の項目を [ ◀◀/▶▶ ] ボタン (⑨) で選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) で決定します。選択後、前の画面に戻ります。
  - 設定メニュー内の [ 戻る ]、または ◀ ボタン (⑩) を押すと前の画面に戻ります。

## 言語設定

画面で表示する言語を選択できます。

39 ページの [ 本体操作 ] を参考に、設定メニューを表示します。

1. [ ◀▶▶▶ ] ボタン (⑨) で [ 言語 ] を選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) を押して、モードメニューを表示します。

### 言語設定画面



2. モードメニューから目的の項目を [ ◀▶▶▶ ] ボタン (⑨) で選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) で決定します。選択後、前の画面に戻ります。
  - 設定メニュー内の [ 戻る ]、または [ 🔊 ] ボタン (⑩) を押すと前の画面に戻ります。

### メモ

工場出荷時の設定は、[ 日本語 ] になっています。

## 操作音設定

本機の操作時にピープ音を 3 段階で設定できます。

39 ページの [ 本体操作 ] を参考に、設定メニューを表示します。

1. [ ◀▶▶▶ ] ボタン (⑨) で [ 操作音 ] を選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) を押して、モードメニューを表示します。

### 操作音設定画面



- [ オフ ]、[ 小 ]、[ 中 ]、[ 大 ] の間で設定可能です。
  - 初期設定は、[ 中 ] になっています。
2. モードメニューから目的の項目を [ ◀▶▶▶ ] ボタン (⑨) で選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) で決定します。選択後、前の画面に戻ります。
    - 設定メニュー内の [ 戻る ]、または [ 🔊 ] ボタン (⑩) を押すと前の画面に戻ります。

## 保存場所設定

録音ファイルや音楽ファイルの保存先を選択できます。

39 ページの [ 本体操作 ] を参考に、設定メニューを表示します。

1. [ ◀▶ ] ボタン (⑨) で [ 保存場所 ] を選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) を押して、モードメニューを表示します。

### 保存場所選択 画面



2. モードメニューから目的の項目を [ ◀▶ ] ボタン (⑨) で選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) で決定します。選択後、前の画面に戻ります。
  - SD カードがセットされていない状態で、[ SD カード ] を選択した場合、画面に [ カード無 ] と表示します。
  - 設定メニュー内の [ 戻る ]、または ◀ ボタン (⑩) を押すと前の画面に戻ります。

## 本体情報

本体のメモリーの容量と残量が確認できます。

39 ページの [ 本体操作 ] を参考に、設定メニューを表示します。

1. [ ◀▶ ] ボタン (⑨) で [ 本体情報 ] を選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) を押して、モードメニューを表示します。

### 本体情報画面



2. モードメニューから目的の項目を [ ◀▶ ] ボタン (⑨) で選択し、メニュー [ ≡ ] ボタン (⑦) で決定します。選択した容量を表示後、前の画面に戻ります。

モード	本機の動作
全容量	本体のメモリーの容量を表示します。
残容量	本体のメモリーの残量を表示します。

\* 本体の内蔵メモリーの使用可能領域は、表示容量より少なくなります。

- 設定メニュー内の [ 戻る ]、または ◀ ボタン (⑩) を押すと前の画面に戻ります。

## SD 情報

microSD カードの容量と残量が確認できます。

39 ページの [ 本体操作 ] を参考に、設定メニューを表示します。

1. [◀◀/▶▶] ボタン (⑨) で [SD 情報] を選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) を押して、モードメニューを表示します。

### 本体情報画面



2. モードメニューから目的の項目を [◀◀/▶▶] ボタン (⑨) で選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定します。選択した容量を表示後、前の画面に戻ります。

モード	本機の動作
全容量	SD カードのメモリーの全容量を表示します。
残容量	SD カードのメモリーの残容量を表示します。

\* SD カードのメモリーの使用可能領域は、表示容量より少なくなります。

- microSD カードがセットされていない状態で、容量選択した場合、画面に [カード無] と表示します。
- 設定メニュー内の [戻る]、または ◀ ボタン (⑩) を押すと前の画面に戻ります。

## 初期化設定

本体と microSD カードのメモリーを初期化します。

- 初めて microSD カードを使用する際は、必ず本機で初期化を行ってください。必要なフォルダーを生成します。

### 注意

- 初期化を行うと全てのファイルおよびフォルダーが削除されます。
- microSD カードの録音において、ノイズや音切れが発生する場合、microSD カードの初期化を行ってください。
- 初期化を行う場合には、重要なファイルを必ず、PC 等にコピーや移動してから初期化を実行してください。

39 ページの [ 本体操作 ] を参考に、設定メニューを表示します。

1. [◀◀/▶▶] ボタン (⑨) で [初期化] を選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) を押して、モードメニューを表示します。

### 初期化選択画面



- microSD カードが挿入されていない場合、[本体] のみ表示します。
2. モードメニューから目的の項目を [◀◀/▶▶] ボタン (⑨) で選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定します。

- 初期化メニューから [I◀◀/▶▶I] ボタン (⑨) で [はい]、または [いいえ] を選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定します。

#### 初期化メニュー画面



- 初期化中は、画面に "処理中" を表示します。  
初期化が完了後、前の画面に戻ります。  
次に、[VOICE/MUSIC フォルダの生成] を行います。

### VOICE/MUSIC フォルダの生成

- フォルダ構造を構築するため、電源をオフにします。
- 再度、電源をオンにして 43 ページの [保存場所設定] を参考に、保存場所を [本体] に設定します。
- 次に、16 ページの「メインメニューについて」を参考に [音声モード] を選択すると下記のフォルダを自動的に作成します。
  - [VOICE] フォルダの生成
- 続けて、メインメニューから [音楽モード] 選択すると下記のフォルダを自動的に作成します。
  - [MUSIC] フォルダの生成
- 次に、手順 5. の保存場所を [SD カード] に設定して、手順 6. ~ 7. を行って、[VOICE] と [MUSIC] フォルダを生成します。

### FW 情報

本機のファームウェア情報を表示します。  
39 ページの [本体操作] を参考に、設定メニューを表示します。

- [I◀◀/▶▶I] ボタン (⑨) で [FW] を選択し、FW 画面を表示します。  
[VR-02 X.XX](モデル名 FW.Ver)
- ◀ ボタン (⑩) を押すと前の画面に戻ります。

## 日時設定

本機の日時設定を行います。

39 ページの [ 本体操作 ] を参考に、設定メニューを表示します。

1. [◀▶] ボタン (⑨) で [日時設定] を選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) を押して、モードメニューを表示します。
2. モードメニューから目的の項目を [◀▶] ボタン (⑨) で選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定します。

### 日時・時計選択 画面



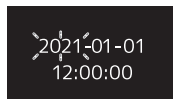
3. [時計設定] を選択した場合、[12H] または [24H] を [◀▶] ボタン (⑨) で選択します。

### 時計設定画面



4. メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定します。選択後、前の画面に戻ります。

5. 続けて、モードメニューから [◀▶] ボタン (⑨) で、[日時設定] を選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定します。
6. 日時設定画面で [年] 表示が点滅します。  
[◀▶] ボタン (⑨) を押すと、数字が増減しますので、目的の数字を選択します。



7. メニュー [≡] ボタン (⑦) を押して、次の項目に移動します。
8. 次に [月] 表示が点滅しますので、手順 6. の操作を行います。
9. 手順 6 ~ 手順 8 を繰り返して、「年/月/日/時/分/秒」の設定が完了したら、▶ ボタン (⑩) を押して決定します。
10. もう一度、▶ ボタン (⑩) を押して、モードメニュー画面に戻ります。

## リセット

本機の設定を工場出荷状態に戻します。

### メモ

録音ファイル、音楽ファイルは消去されません。

39 ページの [ 本体操作 ] を参考に、設定メニューを表示します。

1. [◀◀/▶▶] ボタン (⑨) で [リセット] を選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) を押して、モードメニューを表示します。



2. モードメニューから [◀◀/▶▶] ボタン (⑨) で [はい]、または [いいえ] を選択し、メニュー [≡] ボタン (⑦) で決定します。
  - [いいえ] を選択した場合、1 つ前の画面に戻ります。
  - リセット完了後、本機は工場出荷時の状態に戻ります。

### 注意

本機を初期化した場合、「リセット」を行っても、[VOICE/MUSIC] フォルダは、生成されません。45 ページ「[VOICE/MUSIC] フォルダの生成」を参照して、必要なフォルダを生成してください。

## トラブルシューティング

**電源がオンしない、すぐに電源がオフしてしまう。**

- 内蔵バッテリーが空の可能性があります。USB ケーブルが接続されている場合は、接続し直して本機の充電を行ってください。

**動作しない**

- ボタン類がホールドされていませんか？メニュー [≡] ボタンを押して、画面に "HOLD" のホールドアイコンが表示されるとホールド状態です。電源 / ホールド スイッチを ① マーク側にスライドさせ、ホールドを解除してください。
- ホールドされていない状態で、ボタン類が動作しない場合は、[▶▶] ボタン (⑧) を 8 秒以上長押ししてください。強制ハードリセット (\*) になり、本機の電源をオフにします。もう一度、電源をオンにして、ボタン類の動作確認を行ってください。  
\* 録音中にハードリセットすると録音ファイルは、"ERROR" と表示され再生できなくなります。

**パソコンに認識されない**

- 接続不良の可能性があります。USB ケーブルを抜いて、各端子にもう一度、しっかり差し込んでください。
- 付属の USB ケーブル以外で接続している場合、動作保証ができません。

**音楽ファイルが再生されない**

- 本機で対応している音楽フォーマット以外は、再生できません。また、著作権保護された音楽ファイルも再生できません。
- 音楽ファイルは、本体や SD カードの [MUSIC] フォルダの直下に入れてください。他のフォルダでは、認識できない場合があります。

**音が出ない**

- 音量設定は、適切ですか？また、イヤホンをお使いの場合、イヤホン端子が本機にしっかりと差し込んでいるか確認してください。

## 仕様 / 定格

### レコーダー部仕様

#### 記録メディア

本体メモリー (*)	: 8 GB
microSD カード	: 2 GB
microSDHC カード	: 4 GB ~ 32 GB

\* 本体の内蔵メモリーの使用可能領域は、表示容量より少なくなります。

チャンネル数 : 2 チャンネル (ステレオ)

#### 最大録音ファイル数

[A] ~ [D] フォルダ	: 99 ファイル / 1 フォルダ
	総合計 396 ファイル
[MUSIC] フォルダ	: 200 ファイル / 1 フォルダ

### 入出力定格

内蔵マイク	: コンデンサーマイク×2 (単一指向性)
内蔵スピーカー	: 最大出力 450 mW (モノラル)
イヤホン端子	: $\phi$ 3.5 mm ステレオミニ端子
イヤホン出力	: 10 mW+10 mW (16 $\Omega$ )

### コントロール入出力定格

#### USB 端子

コネクタ	: micro-B type
フォーマット	: USB2.0 HIGH SPEED マストレージクラス

### オーディオ性能

#### 周波数特性 (再生時)

20 ~ 22 kHz  $\pm$  3 dB  
(PCM Fs48 kHz/16 bit、JEITA(\*))

\* JEITA : JEITA CP-2150 準拠

S/N 比 : 90 dB 以上 (再生時)

### ラジオ性能

ラジオ周波数 (FM) : 76.0 MHz ~ 108.0 MHz  
(ワイド FM)

### 一般

#### 内蔵バッテリー

リチウムイオンバッテリー (280 mAh)

充電完了時間 : 約 2.5 時間 (フル充電)

充電電圧 / 電流 : 5 V / 0.5 A

消費電力 : 0.3 W (イヤホン接続時)

外形寸法 : 24 x 106 x 10 mm  
(幅 x 高さ x 奥行き)

質量 : 50 g

動作温度 : 5 ~ 35°C  
20 ~ 80% (結露なき事)

- 取扱説明書のイラストが、一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。



## 動作表示インジケータリスト

- USB 充電器を使用して充電中の LED 表示 (\*)

充電中	操作	LED	
		色	状態
電源オフ	(電源オン+停止)	オレンジ	点灯
電源オン	停止		点灯
電源オン	再生		点灯
電源オン	再生一時停止	オレンジ / 緑	点滅
電源オン	録音	オレンジ	点灯
電源オン	録音一時停止	オレンジ / 赤	点滅

- 充電していない場合の LED 表示

操作	LED	
	色	状態
録音中	赤	点灯
録音一時停止		点滅
再生中	緑	点灯
再生一時停止		点滅

\* パソコンからのバスパワーでは、操作できません。

## 録音形式 / 録音時間 (参考値)

録音形式	PCM	NC (ノイズキャンセル)	HQ	SP	SLP	RFM (FM 録音)
録音可能時間 (本体メモリー 8GB)	11 時間	46 時間	135 時間	542 時間	2160 時間	135 時間
フォーマット	WAV		MP3			
サンプリング 周波数 / bit	48 kHz / 16 bit	12 kHz / 16 bit	32 kHz	8 kHz	8 kHz	32 kHz
ビットレート	1536 kbps (ステレオ)	384 kbps (ステレオ)	128 kbps (ステレオ)	32 kbps (モノラル)	8 kbps (モノラル)	128 kbps (ステレオ)
最長連続録音時間 /1 ファイル	1 時間	10 時間	10 時間	10 時間	10 時間	10 時間
録音ファイル名	PCM 001.WAV	RNC 001.WAV	RHQ 001.MP3	RSP 001.MP3	SLP 001.MP3	RFM 001.MP3

- 測定条件：自動分割録音設定 [オフ] / 本体メモリーおよび SD カードを初期化

\* 録音可能時間は、参考値としてお使いください。

## 再生形式

再生可能形式	サンプリング周波数 (kHz)	ビットレート (kbps)	量子化 bit
WAV	12/ 24/ 32/ 44.1/ 48	--	16/24 bit
MP3	8 ~ 48	8 ~ 320,VBR	--
WMA	8 ~ 48	8 ~ 320	--
AAC	8 ~ 48	8 ~ 320	--

## 電池持続時間 (参考値)

録音時間 (使用環境、条件によっては、録音時間が短くなる場合があります。)

録音形式	最高音質	屋外	標準	長時間	最長時間	FM 録音
	PCM	NC	HQ	SP	SLP	RFM
録音可能時間 (*) (フル充電 / 内蔵メモリー)	7 時間 30 分	8 時間	7 時間	10 時間	10 時間	4 時間

- 測定条件：自動分割録音設定 [ オフ ]
- SD カードへの録音時間は、本体メモリーの録音時間より短くなります。

\* 録音可能時間は、参考値としてお使いください。

4 時間以上の長時間連続録音する場合は、できるだけ USB 充電器から充電しながら録音してお使いください。

再生時間 (使用環境、条件によっては、再生時間が短くなる場合があります。)

再生形式	最高音質	屋外	標準	長時間	最長時間	FM 受信時間
	PCM	NC	HQ	SP	SLP	
再生可能時間 (*) (フル充電 / 内蔵メモリー)	13 時間	13 時間 30 分	13 時間 30 分	14 時間	17 時間	8 時間

- 測定条件：自動分割録音設定 [ オフ ] / イヤホン接続時 (再生時の音量によって時間が大きく変わります。) / 測定条件は、初期値です。
- SD カードの再生時間は、本体メモリーの再生時間より短くなります。

\* 再生時間は、参考値としてお使いください。

8 時間以上の長時間連続再生やスピーカーで音声を再生する場合は、できるだけ USB 充電器から充電しながら再生してお使いください。



## TASCAM ID 登録について

TASCAM ID ご登録者様には、製品情報や大切なお知らせをメールマガジンにてお届けしますので、ぜひご登録をお願いいたします。



ご登録はこちらから

<https://tascamid.tascam.jp/int/login/>


### ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

#### この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47


- 電話 **042-356-9137** 携帯電話・PHS・IP 電話から
- ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から
- FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00～12:00/13:00～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

#### 故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858

- 電話 **04-2901-1033** 携帯電話・PHS・IP 電話から
- ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から
- FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30～12:00/13:00～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



# 保証書

## 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。
  - 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。無償修理の対象は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限られます。
  - ご転居や贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼にならない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
  - 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
    - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
    - お買い上げ後の輸送・移動・落下による故障および損傷
    - 水害、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧による故障および損傷
    - 故障しているほかの機器に起因する故障および損傷
    - 業務上の長時間使用など、特に不適切な使用された場合の故障および損傷
    - メンテナンス
    - 本書の提示がない場合
    - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合
  - 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
  - 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- \* この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとに限り無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

修理メモ

## Stereo IC Recorder VR-02

品名 および 形名	Stereo IC Recorder VR-02	
機番		

ご購入日	年	月
お客様名	お	

この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとに限り無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	
電話	( )

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます。場合がございましたので、ご了承ください。